

KAETSU on the MOVE

実学を120年。「経営経済」のKAETSU

嘉悦大学

発行：嘉悦大学アドミッションセンター

はじめて本紙を読む方へ

嘉悦大学は日本初の女子商業教育を実践した嘉悦孝によって創立され、女子短期大学を経て、2001年以降は男女共学の4年制大学として新たな道を進んでいます。これまで120余年に渡り時代に先駆けた実学教育を展開し、日本初の女性公認会計士をはじめとする有為の人材を

多数輩出してきました。そして今、「実学120年の嘉悦で信頼できる職業人になる」をスローガンに、学生へのキャリア支援をはじめ、教育・研究活動におけるさまざまな挑戦を続けています。本紙ではその最前線をレポートします。

第1回 高校生広報アイデアコンテスト 「あなたが住んでいる街の良さを伝えよう」 受賞作品発表

主催：嘉悦大学 経営経済学部 協力：西武鉄道(株) 西武バス(株) 東京女子学院高等学校漫画研究部

なぜ嘉悦大学が？カエツの経営経済学部で人気のマーケティングコースには、広報・宣伝のプロフェッショナルである教員も、地域振興策の専門家教員もいます。両方の専門領域からの教育を行っている大学だからこそ、このコンテストが主催できたのです。若い感性に溢れた全国の高校生の応募作品から、入賞作品を一挙ご紹介いたします。

最優秀賞

『千住の魅力』

足立区

東京都立第一商業高等学校3年生



立ち止まれば千のいいところ

講評

本作品は全審査員の間でほぼ満票に近い評価となりました。そのポイントは千住大橋から隅田川越しのパノラミックな景色の写真が印象的であること、そこに分かりやすく千住の魅力伝えるコピーが載っているところです。このまま電車の車内広告にしてもいいくらいの完成度だと感じました。このように印象的な写真と適切なコピーを重ねた作品は他になかったので、来年の応募者はぜひ参考にしてほしいと思います。コピー（立ち止まれば千のいいところ）に関しても、千住にかけてベタに「住めば、千のいいところ」と言わずに、「立ち止まれば」と少し抑えたところが、興味を惹く要因になっている。文字のフォント、サイズも計算されており、高いクリエイティビティを感じました。

準優秀賞

『青にあるJK保護区思ひ出に 春の終わりも煙のこして』

西宮市

兵庫県立西宮今津高等学校3年生



講評

浜甲子園という地名が、甲子園という高校生の夏の風物詩を連想させて、どんなところが気になります。甲子園大会のように、人生に一度しかない青春の瑞々しい時間を、青いトーンの写真の中に固定されています。そのかけがえない一瞬を保存したいという作者の想いが、干潟の鳥獣保護区を「JK保護区」と読み替えたアイデアに生きています。私たちが求めているアイデアとは、このような着想のことを指しています。浜甲子園という地域の魅力を伝えているのか？という点で審査員の票が割れましたが、独創性において最優秀賞に続いており、準優秀賞としました。



学園祭開催中の11月3日、カエツホールでの授賞式では、入選10作品、特別賞3作品、優秀賞5作品、準優秀賞1作品、最優秀賞1作品の表彰が行われました。本コンテストの発案者である國田圭作先生による受賞作品への講評、広報論を担当する濱地徹先生による広報論セミナーがあり、最後に永久寿夫理事長から本コンテストに対する手応えと次年度以降の継続への抱負が語られました。

講評・國田圭作教授



昨今、若い世代が SNS などを通じて自らのクリエイティブを存分に発揮し、写真や動画、イラストや歌、ダンスなど、多彩な表現方式でオリジナル作品を世の中に発信するようになってきました。しかし、そうしたクリエイティブは、現時点では純粋なアート作品として発信されており、アート作品として消費されているだけで、社会を動かし、社会課題を解決する広報アイデアにはつながっていません。それは、大変、もったいない状況であると考え、若いみなさんのクリエイティブなアイデアを、もっと企業や組織、そして社会の課題解決に活かさないものかと考えたのが本コンテストの開催の意義です。

審査基準については4つの観点を立てました。

1 点目は、住んでいる地域の魅力を伝えられているか、という本コンテストのミッションつまり課題との合致度です。

2 点目が、作品を閲覧した人の興味と共感を獲得できる

魅力的な表現か。つまり魅力度です。これは誰を、どんな人を主たるターゲットとして意識するかも変わってきます。高校生ならば、同世代の若者をターゲットにするのが一番、やりやすいと思います。

3 点目は、作品を閲覧したときに、伝えたい内容・意図がすぐ、容易に理解できるか。つまり内容理解度です。今、世の中の人は大変忙しいので、たくさんの情報が溢れている中で、ぱっと目を惹き、かつ瞬間的に内容を理解してもらわなくてはなりません。広報コミュニケーションにおいては、この内容理解度がもっとも重要になります。相手がある以上、ひとりよがりではだめです。これがアート作品との一番の違いです。

4 点目が、独創性です。高校生らしい新鮮な着想と個性・オリジナリティを持つ創作であるかどうか。たとえば、テンプレートを使えば、簡単に質の高い作品が作れるでしょう。テンプレートを使うことは構いませんが、そこに独創性を盛り込むかが問われます。

以上の観点で、私を含め5人の審査員が議論を交わし、受賞作品を選定させていただきました。今回の優秀作品はすべて、課題合致度、魅力度、内容理解度で基準を大きくクリアし、かつ、その上でテンプレートに頼らない独創性という点で、優れていました。

本コンテストを通じて、アート作品が素晴らしい広報アイデアに転換できることを理解していただき、若い世代の自由で切れ味のいいアイデアを、どんどん、社会的発信や企業や組織の広報アイデアに役立てていって欲しいと願っています。

優秀賞

『いいじゃん北区王子』

北区
三輪田学園高等学校1年生

本作品はスライドショー形式にしてくれたことで、王子の新旧さまざまな魅力が、まるで自分が作者と一緒に街を歩いているような感覚で伝わってきます。テロップの入れ方も含めた分かりやすさという点と、BGMの選曲も含めた全体の完成度で優秀賞に相応しい作品でした。



全てのスライドはWEBサイトでご覧いただけます



『帰り道』

杉並区 東京都立第一商業高等学校3年生

ひたすら西に向かって伸びる東京の私鉄線路。その線路沿いの道が作者の通学路です。写真1枚でこれほどのエモーションを伝えてくる作者の写真技術が全審査員に高く評価されました。太陽を画角の中心に消失点として置くことで、はるか先の方に視線を集中させていく構図もよくできています。夕焼けどき、正面からの西陽を受けながら下校した作者の記憶は、この場所に行ったことがない人でも、誰にでもそのまま共有可能だと思い、優秀賞に選定されました。



『黒壁スクエアに遊びにきゃんせ!』

長浜市 伊香高等学校1年生

滋賀県長浜市にある古い街並みを生かした観光施設、黒壁スクエアの広報アイデアです。作者と思われる女性と猫のイラストと写真の組み合わせがチャームで、黒壁スクエアの魅力的なプレゼンテーションになっています。周辺の観光スポットを順番に紹介していますが、その筋のプロがつくる、よくある観光ガイドになってしまっていないのは、オリジナルのイラストが効いているからです。猫と女性のイラストをもっと中心にしたカットが扉かラストにあってもよかったと思います。



『ソメイヨシノ』

小金井市 東京女子学院高等学校2年生

小金井市は江戸の昔から桜の名所です。卒業式でしょうか、最近珍しくなった詰襟学生服を着た、でもとても現代的な顔立ちの男子のイラストが目目を惹きます。まっすぐこちらを見つめる瞳の中にも花吹雪が映り込んで、髪の毛も桜色に染まっています。このイラストスキルの高さを評価し、優秀賞に選定しました。

『夏の小平』

小平市 東京都立五日市高等学校1年生

本学の近くに古い農家を保存した歴史的観光施設、「小平ふるさと村」があります。古い農家建築は、外がまぶしい夏は逆に室内が薄暗く、土間は少しひんやりとしています。そんな古民家の夏の空気感を広報小平の表紙という見立てて伝えているところにアイデアがありました。さらに、縁台に腰掛けている夏らしいワンピースの少し日焼けした若い女性のイラストが、少し地味な古民家の写真に華やかな印象を与えています。アイデアと完成度の両面で、高く評価されました。



特別賞

『スカイツリーと夕焼け』

江東区

三輪田学園高等学校1年生



『夏音』

長瀬町

東京都立第一商業高等学校3年生



『秘密の道』

多治見市

帝京大学可見高等学校2年生



入賞



「暖かい、優しい市、だから大好き！」

西東京市 明聖高等学校中野キャンパス1年生



「夜の公園」 東京都立第一商業高等学校3年生

豊島区



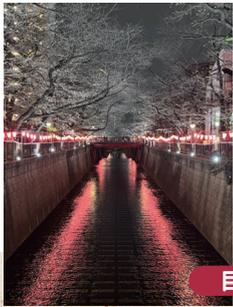
「深呼吸」 東京都立第一商業高等学校3年生

青梅市



「懐かしさ溢れる私の街」

葛飾区 三輪学園高等学校1年生



「初春」 東京都立第一商業高等学校3年生

目黒区

「暮れゆく空と賑わう三宮」

神戸市

専修学校クラーク高等学院 大阪梅田校3年生



「私の「一番好きな時間」」

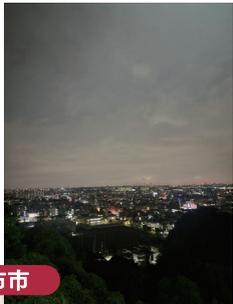
さいたま市

角川ドワンゴ学園N高等学校2年生



「練馬で練りませんか？」

練馬区 大妻中野高等学校2年生



「綺麗な輝」 東京都立第一商業高等学校3年生

調布市

「サイバーパンクシティ立川」

立川市

精華学園高等学校 東京芸術学部立川校2年生



第2回要項決定

応募期間

2025年6月2日(月)～9月9日(火) 作品提出・応募締切、23:59必着

賞品(予定)

- 最優秀作品(2作品)……………10万円分のギフトカード
- 優秀作品(5作品)……………1万円分のギフトカード
- 入選作品(10作品)……………嘉悦大学ロゴ入りタッチペン

募集内容

オリジナル未発表の広報アイデア【テーマ】「あなたが住んでいる街の良さを伝えよう」

※イラスト・写真・動画・歌・ことば(キャッチコピー)でいま住んでいる街の魅力を発信すること

参加方法

公式ホームページの応募フォームより投稿 参加費 無料

参加資格

国内在住の高校生 ※グループでの応募も可 ※学校単位・クラス単位で応募する場合は下記問合せ先までメールにて問い合わせること

審査員

嘉悦大学経営経済学部教員・外部有識者 結果発表 2025年11月上旬ごろ、公式ホームページにて 主催 嘉悦大学経営経済学部

提出先・問合せ先

嘉悦大学「高校生広報クリエイティブコンテスト」事務局係 ● tel: 042-466-1719 (9:00～17:00/土・日・祝日を除く) mail: admission@kaetsu.ac.jp

※今後変更がある場合があります。最新の情報はHPで発表します